

KIDS クラブたわら 支援プログラム 作成日：令和7年3月19日

法人理念	『医療・福祉・教育の場の「和」で地域に奉仕』を合言葉に、3つの柱を大きな力にし、その力を強みにして地域のより良い環境づくりを目指します。多岐に渡るプロフェッショナルの連携で安定し信頼あるサービスを提供して、地域になくてはならない存在を目指して職員一丸となって取り組みます。ご利用いただく皆さまも、職員もみんなが笑顔になる環境の構築を目指します。		
支援方針	動物介在療法の中でも馬を介した馬介在療法（ホースセラピー）をプログラムの主軸においています。セラピーホースとの関わりの中で身体的、精神的、社会的な視点での支援を行っています。加えて、Yalomの集団療法の視点を根底に、ご本人が集団活動の中で経験する対人関係を重視し、学校や家庭での課題をあえて表出し意識するよう促し、その課題に対しスタッフとご本人がお互いに考え成長と発達ができるよう関わります。個別活動も準備しますが、それも並行集団として集団の中での様子と捉え、社会という集団生活への適応的な行動やコミュニケーションの能力を培うよう促します。		
営業時間	◎平日（木曜日を除く）：13時～17時15分 ◎土曜・祝日・長期休暇：10時～17時	送迎実施の有無	有り

◎支援内容

本人支援	
健康・生活	日々の生活で健康を維持すること、体力や精神力を維持向上すること、生活の習慣化をすること、日々の生活で不可欠な排泄や食事といった日常生活動作（ADL）や、調理や買い物、金銭管理、公共機関の利用などの手段的日常生活動作（IADL）に関する支援を行います。また、社会通念を伝えるなど、社会生活に必要な知識を伝えたりします。 【ホースセラピー】 - 馬の世話： 馬の食事や手入れ、水やりや餌づくり、排泄物の処理などを経験します。馬の世話を通してご本人の手順や段取りの獲得や修正を行い、それが日常生活で反映されるようにします。 - 馬の体の勉強： 馬の体を学ぶのと同時に人間の体を対比させて、ご本人の体への興味関心も引き出し、自分の健康や体の構造への理解を促します。

健康・生活 (続き)	【集団活動】 ・防災訓練： 月1回実施し、避難時の考えや災害時の対応方法について知識の獲得と体感する機会を促します。デイルームでの座学だけでなく、消防署の見学や災害センターでの体験も行います。 ・クリスマスや正月のような季節感のあるイベントや飾りつけ、創作： 春夏秋冬を感じるようなイベントや創作の経験が、1年の周期的な感覚を促したり、季節感を感じ、生活の周期性や習慣性への気づきを促します。 ・おやつの時間： 15時を目安に、スタッフが事前に準備したおかしの中から一定金額のお菓子を選び食べます。購入をしないこともできます。決まった時間の出来事への興味関心と生活リズムの修正、獲得、時間の感覚を促します。 ・終わりの会： 一日の振り返りと共に、自分や他の人の評価を行い、ホースセラピーと集団活動の過ごし方について、最優秀者（複数もあり）を決定します。参加が終了する合図とするとともに、賞賛される経験の場面にします。 ・お誕生会： ご本人のお誕生日近くの利用日に、お誕生日をお祝いします。周りから賞賛されることと、1年の経過についての認識を促します。 【ADL】 ・排泄動作の支援： 定時排泄の促し、衣類の着脱の介助や動作の適切な工程への促し、汚れの処理の促しや支援を行います。 ・食事の支援： 適切な一口量の指導やペース配分、食べこぼしへの対応や箸やスプーン、食器の適切な使用のための動作学習を支援します。 【IADL】 ・買い物： 近隣のコンビニやスーパー、ファーストフード店の利用でご本人のお弁当やおやつの購入のための買い物だけでなく、KIDSクラブたわらで使用する物品や材料の買い出しの役割を担ってもらい、スタッフと共に買い物を経験します。買い物の仕方や商品の扱い方、適切な金額設定の理解を促します。 ・公共機関や施設の利用： 電車やバスなどの利用の機会を作ったり、図書館やコンビニ、消防署や防災センター、博物館の利用の機会を作り、利用方法の経験を促します。
運動・感覚	<u>運動</u> 肩や肘、股や膝などの大きな関節を使う粗大運動の経験と手首や腕などの微細運動の一側面、もしくは両方を取り入れたプログラムを提供します。左右の対称的

運動・感覚 (続き)	な両手動作だけでなく、左右非対称な動作、繰り返しやリズム、持続性、柔軟性、力の大きさやスピード、瞬発力など、運動を様々な視点で捉えて、それらの成長と発達が促されるよう支援します。 感覚 視覚や聴覚などの特殊感覚、触覚や圧覚、温度覚のような表在感覚や筋肉や関節、腱などの固有覚、重力や回転を感じバランス感覚に関係する前庭覚への促しを視野に入れて、感覚過敏や感覚鈍麻への配慮をしながら、プログラムを通して感覚入力を促し、その成長発達に対し支援します。 ※運動・感覚は、感覚から運動が促されそれがまた新しく感覚を促すといった視点から、単独での促しというより、感覚・運動を対にしたのプログラムを提供します。また、運動、感覚それぞれにおいても、単一の運動、単一の感覚を引き出すというよりも、プログラムの中で複合的な運動・感覚が提供できるように計画します。また、活動の中でいろいろな道具の操作の経験が、複雑な運動と感覚を促します。 【ホースセラピー】 - 乗馬： 馬の背に乗ることでの馬から伝わる触覚、圧覚、振動、上下、前後左右、回転といった前庭感への刺激、遠心力、バランス感覚、常に変化する姿勢への対応、乗馬の姿勢を維持することで感じる固有覚への刺激を引き出しながら、それらの感覚入力に対応して、体幹、股関節や膝、手綱を持つ際の肩や肘の動き、手指の微細な動きとそれらを感じる感覚入力を促し、様々な運動感覚の刺激と成長発達を促します。また馬の背という普段の生活場面よりも視線が高くなること、馬の動きやその環境から聞こえてくる音や声を感じ取ることも促します。 - 引き馬： 馬のロープを操作し、適切な距離感を保ちつつ、馬との非言語的コミュニケーションを取りながら、馬を自分が進めたい方向へ誘導します。ロープから得られる感覚や視覚的、聴覚的に感じ取る馬との距離感、下半身は歩行しつつ上半身はほぼ同一姿勢を維持することで、運動と感覚への刺激を促します。 - 馬とのリレー： 丸馬場の柵の中を馬が走り、柵の外側をご本人が走りかけっこやリレーをします。闘争心に火をつけることで、普段以上に脚の動きを引き出し、最後まで走ることでの体力と持久性を促します。時に自分自身のタイムと競わせて、自分の身体機能への気づきも促します。 【集団活動】 - ドッジボールやサッカー、野球、バスケットボールなどの球技： ボール操作やバットの操作、手足の動きや移動などによる身体機能の向上を促します。
-----------------------	---

運動・感覚 (続き)	• おにごっこ（色おに、走らないおにごっこ）： 周りの環境に対して視覚などで迅速な感覚入力を促しながら、瞬発力やスピード、力のコントロールを体験します。 • 個別創作： 折紙や張り絵、切り絵、段ボール工作や木工といった創作を提供します。 自己表現に加えて、手指の動か方、体幹や肩、肘の固定に関する運動機能、手指の感覚入力の促しとします。 【その他】 • ハンモック、バランスボード、トランポリン、ストレッチなど
認知・行動	物や道具、空間や時間、自分や他人についての認知および認識を深めたり、変化、修正するためのプログラムを提供します。認知、認識の変化や修正が、ご本人のご本人の学校や家庭、地域生活で行っている不適応的な行動を改善、修正するのに合わせて、ご本人ができている適応的な行動をより強化してできることを強めるよう促します。 【ホースセラピー】 ふれあい： 馬の鼻に触れて挨拶したり、体に触れたり、声掛けをしたりします。馬の体にご本人の体の大きさや力の強さと馬との比較して大きく力強いことを知り、馬の行動がご本人の思い通りにならないこともあることを体感し、ご本人の体や力への現実の検討、自分の周りが思い通りにならないことなど、自分と他者との違いを理解し、安全に関わるために、適切な距離間や触れる際の力加減などが必要なことを理解して適切な関わり方を通して、適切な距離感や場所や物、相手に合わせた行動をとることを促します。 乗馬： 運動・感覚であげた乗馬は、誰でもできない乗馬という活動を通して成功体験を増やし、ご本人の自己肯定感を強めます。また、乗馬ができる自分と他者との比較の中で自信をつけていきます。 【集団活動】 • コラージュ： 用紙に雑誌やチラシの写真やイラストを切り貼りして、テーマに合わせた作品づくりをします。作品を作ることで、自己表現の機会とするだけでなく、ご本人の気づいていなかった表現や考えを表出することで、新しい自分への気づきの機会にします。また、他者の作品も見ること、他者への新しい気づきを促します。 • 色集めゲーム： 指定された色の物品を探すゲームです。色とそれに関連した物品を意識して探し出し、物品への認識や理解を促します。

認知・行動 (続き)	• この曲なーに： 曲名がわからないまま、指定された番号のトーンチャイムを押して音を出し、音の並びから曲を連想します。音程による聴覚入力から曲を想起して、音と記憶をつなぎ、聴覚刺激による物事の認知、認識力の向上を促します。 • スライスヒーローズ： テレビや漫画、映画のキャラクターを連想させる色を順番にならべた用紙を見て、何のキャラクターか当てるゲームです。色とその並び順番といった少ない情報から連想し、具体例に結び付けることで、認知・認識力を高めます。 創作活動（個人、集団）： 創作活動で作品を完成させることは、ご本人の自己表現と自己の充足につながり、達成感がまた同じような体験をしたいという欲求へとつながります。 【その他】 神経衰弱、キャップツリー、間違い探し、ブラックボックス、ビンゴゲーム、トランプなどのカードゲームなど
言語・コミュニケーション	言葉や文字、音声を使った言語的コミュニケーションと手振りや表情、仕草や態度のような非言語的コミュニケーションの両方の視点で支援を行います。また、言語・コミュニケーションの入力と、その処理、それに対する出力の3点を視野にも入れて支援します。 【ホースセラピー】 • 餌やり： フライパンや手に乗せたおやつを、馬の口元の位置に合わせておやつを馬にあげます。馬の気持ちを考えて位置を動かし、馬への声掛けだけでなく、非言語的なコミュニケーションを考え取り組むよう支援します。 • 引き馬： 運動・感覚であげた引き馬は、馬が人の様子や仕草、ロープの扱いにより気持ちを読み取ると同時に、馬の気持ちや行動、様子を馬の表情や仕草から読みとる非言語的コミュニケーションが必須です。そのため、引馬は非言語的コミュニケーションの練習になります。 【集団活動】 • SST： コミュニケーションの練習としてグループで取り組みます。基本訓練モデルと問題解決技法のそれぞれを使って、ご本人の日々のコミュニケーションでの困りごとを例題にして、ロールプレイにより良いところ探しと改善点を挙げ、より良いコミュニケーションを学習します。 • ことばの音楽療法： リズムやメロディーといった音楽にのせて、日常的な言葉を声に出します。言

言語・コミュニケーション （続き）	葉の習得と発達を促します。 ・ひらがなゲーム： 文字列の空白部分に入る文字を連想したり、言葉全体を連想して単語力を増やします。加えて、文字を読んで声に出します。言語的コミュニケーションを促します。 ・ジェスチャーゲーム： 他者が表現している動きや様子から、動物や物、事柄や人物を当てます。非言語的なコミュニケーションの練習にします。 【その他】 かるた、クイズ、自己紹介ビンゴ、パズル、文字の型はめなど
人間関係・社会性	KIDS クラブたわらで取り組む活動は、ほとんどが個別対応（１対１）ではなく、集団の中で過ごしながら対応します。ホースセラピーも提供する集団活動も集団の中で行っていきます。もし、個別の活動をしていても、個別対応でなければ、他の子どもが過ごしている中で一人過ごしながら創作やおもちゃで遊ぶといった環境で過ごし、並行遊び、並行集団といった一人で過ごしていても集団の中での過ごし方の一つと捉えます。そのため、多くの活動が集団の中で過ごすことになり、集団の中で起きる色々な出来事は人間関係や社会性を育む機会となります。 【ホースセラピー】 ・馬の手入れ・馬の世話： 馬の手入れや世話では数人で取り組むことが多いです。数人で取り組むことで役割分担をしたり、道具の貸し借りをしたり、お互いを意識しながら行動することは、さらに大きい人数の集団で過ごすための準備の機会になります。 【集団活動】 ・お誕生日会やクリスマス会などのイベント： みんなで楽しく過ごそうとする誕生日やクリスマス会などのイベントは、自分がつまらないと自分の気持ちを優先するよりも、周りへの配慮をして周りに合わせて行動することが求められます。そのため、イベントは人間関係や社会性を学ぶ機会となります。
家族支援	
・お子様の子育て療育について ・放課後等デイサービス制度の利用について ・学校生活や家庭、地域生活について ・ご兄弟や保護者様のことについて 以上の内容についてご相談と助言を行っています。対面だけでなく、電話やメール、オンライン（Zoom）の方法でご相談に応じます。	

移行支援

ご本人の新しい環境への移行に向けて、ご本人の生活する地域に円滑になじみ、ご本人の能力に合わせた、出来るだけ自立した生活を促すための支援、相談援助を提供します。

- ・ 小学校から中学校、中学校から高校、高校から大学や専門学校、社会人になる際、進学、就職への移行
- ・ 低学年から高学年への進級など、進級の際に新しいクラスに馴染めない際の支援
- ・ ご本人の生活地域における公共機関や公共施設、スーパーやコンビニなどの上手な利用を促す支援
- ・ ご本人の生活地域におけるイベントや催しへの参加を促し、地域社会に馴染み交流のための支援
- ・ 移行に向けた情報提供や移行先についての相談援助
(ご本人、ご家族、移行先に対して)

地域支援・地域連携

ご本人が通学する学校や、生活する地域、公共施設や商業施設と連携し、ご本人に対して地域社会の受け入れを促すと共に、単独でない各種機関の連携による幅広い支援を充実します。

【学校】

- ・ 支援会議への参加
- ・ 学校の担当教員との相互連絡（送迎時の申し送りなども含む）

【市役所や計画相談支援などの関連機関】

- ・ 支援会議への参加
- ・ 児童の変化に対する情報収集と情報提供、共有

【近隣のコンビニやスーパーなどの商業施設】

- ・ 児童の昼食やおやつ、活動の物品購入時に児童のペースに合わせた会計や買い物の対応
- ・ 児童が気軽に商業施設を利用できるようになるための雰囲気づくりとしての、KIDS クラブたわらと商業施設間の相互の理解と連絡

【近隣でのイベントの参加】

近隣地域の祭りや催しへの参加による、KIDS クラブたわらと地域住民の方々との相互の理解と助け合い

【地域住民の方々との関わり】

馬のいる環境を有効に活かし、通りがかりの近隣の方々の見学対応を受け入れ、同時に近隣の方々のご利用児童との関わりの機会の提供と相互の理解

【法人の関連施設との連携】

阪奈サナトリウムの患者様やパークヒルズ田原苑の利用者様へのホースセラピーの提供の機会

【放課後等デイサービス連絡会への参加】

四條畷市および生駒市の放課後等デイサービス連絡会に参加しての情報収集と共有家族

◎職員の質の向上

【施設内研修】

原則月1回以上の研修の実施。発達障がいの理解と関わり方、関連する疾患への理解、社会モデルの理解、兄弟児への理解、発達検査・知的検査の意味づけと理解、事故防止について、虐待防止について（身体拘束含む）、食中毒や感染症について、緊急対応について、BCPについて

【外部研修】

四條畷市や近隣地域で実施される講習や勉強会への積極的な参加と伝達

【外部講師としての受注】

近隣住民の方々の勉強会での講師、近隣の児童関連施設での講義の講師およびその際に得られた情報の共有

◎主な行事等

季節感ある行事を提供します。

お正月、ひな祭り、子どもの日、夏祭り、阪奈フェスタ（関連の専門学校の文化祭）、クリスマス、その他外出活動、など